



探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業



府中市立府中学園

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	特別支援	合計
児童生徒数	77	85	83	93	93	81	100	95	79		786
学級数	2	3	3	3	3	2	3	3	2	10	34

●児童生徒数：786名

●1年生から9年生までが在籍する、義務教育学校



◎研究主題

令和3年度

学び続ける児童生徒の育成
～探究的な学習の単元開発・実践を通して～

令和4年度

学び続ける児童生徒の育成
～探究的な学習の単元改善・実践を通して～

令和5年度

学び続ける児童生徒の育成
～児童生徒主体の探究的な学習づくりを通して～

1年目(令和3年度)の研究

探究的な学習についての教職員対象意識調査

Q: 探究を意識した授業に前向きに取り組んでみたいと思いますか。 (%)

	はい	いいえ
令和3年5月	88.2	11.8
令和4年2月	97.7	2.3

前向きに取り組みたいという
肯定的回答は高い。しかし…

Q: 探究を意識した授業をしていますか。 (%)

	はい	いいえ
令和3年5月	49.0	51.0
令和4年2月	56.7	43.3

探究を意識した学習は
できていない…

1年目(令和3年度)の研究

1. 資質・能力の評価

(1) 育成を目指す資質・能力の検討

2. 探究的な学習の充実に向けての取組

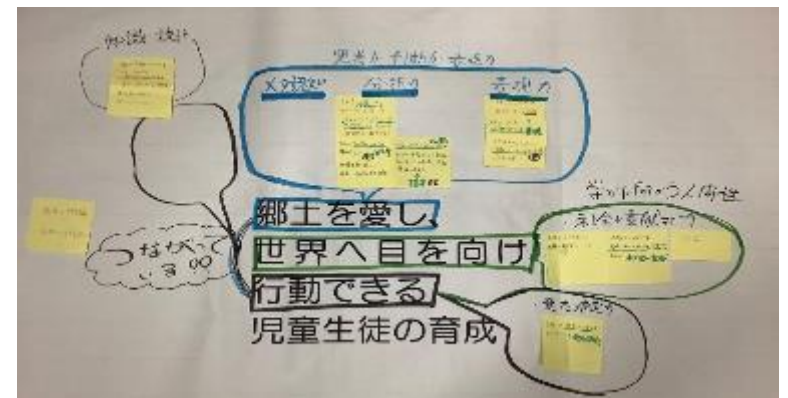
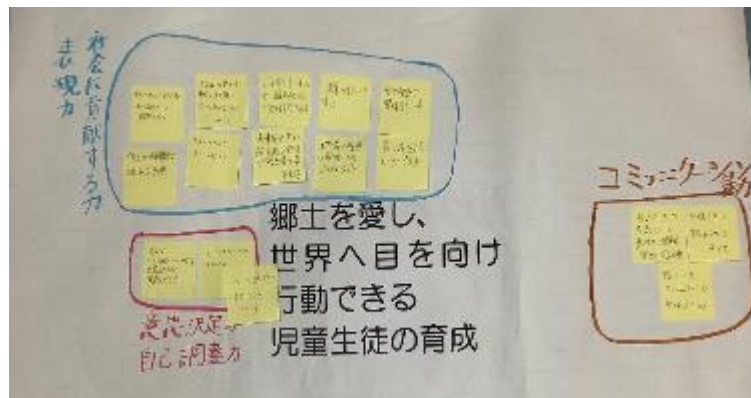
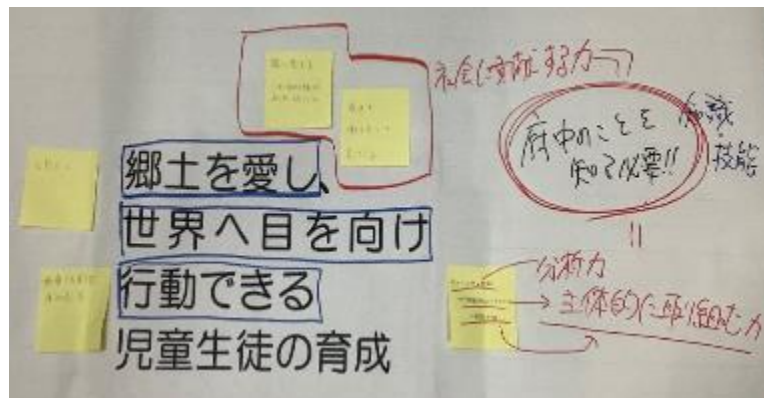
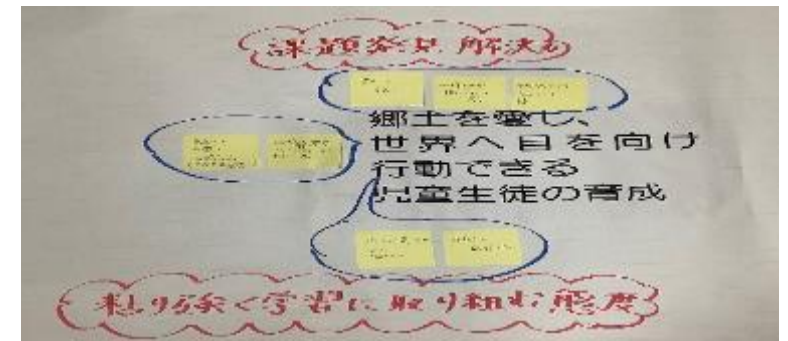
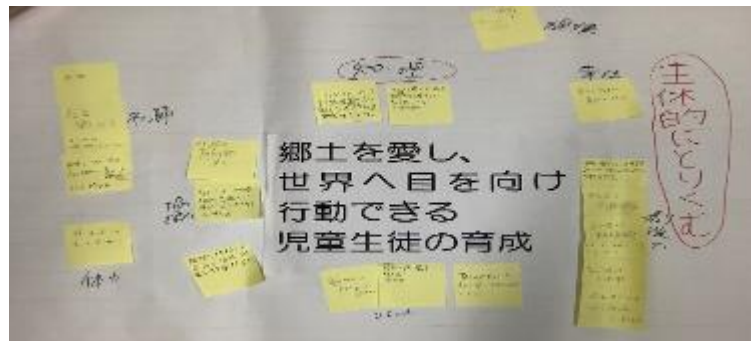
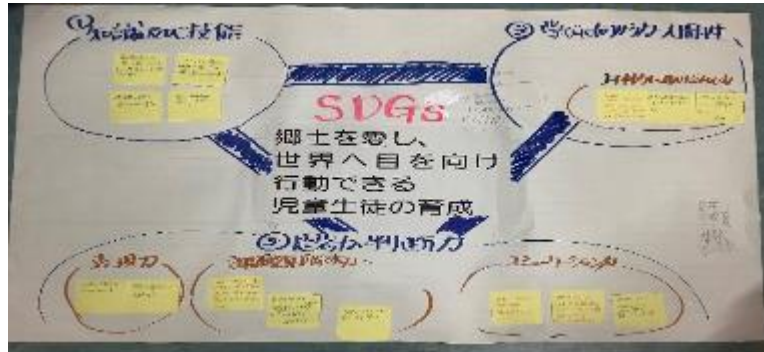
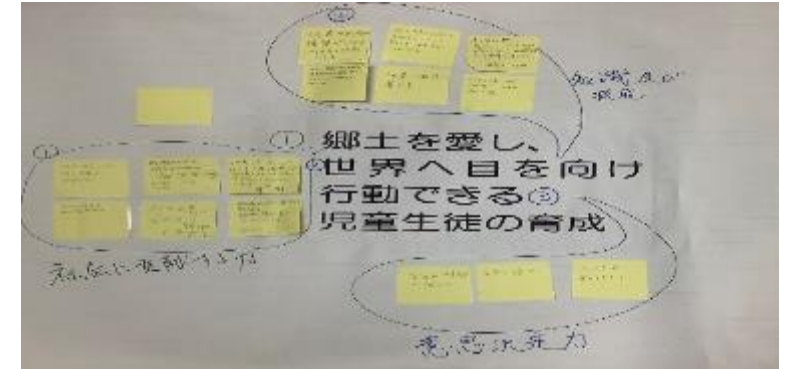
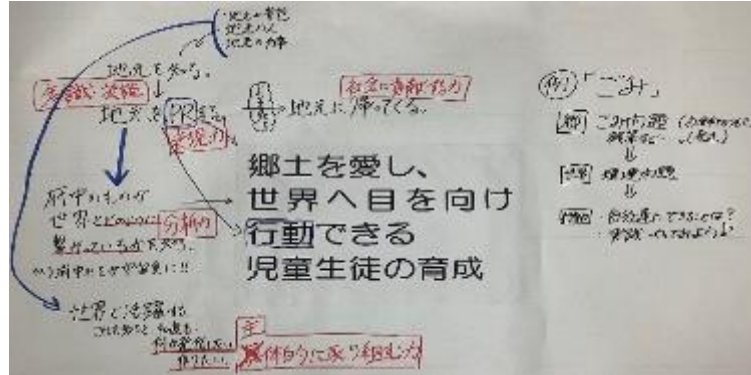
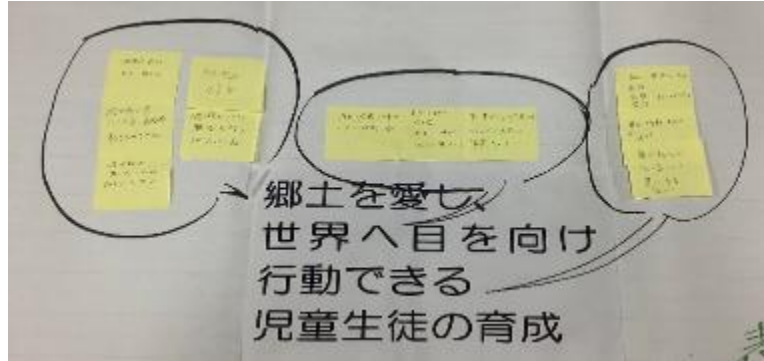
(1) 探究スタイルの共有

(2) 単元構想

(3) 思考ツールを取り入れた探究学習

1年目(令和3年度)の研究

1-(1)育成を目指す資質・能力の検討



1年目(令和3年度)の研究

1-(1)育成を目指す資質・能力の検討

【生活科及び総合的な学習の時間における育成を目指す資質・能力】

学習指導要領に示す目標や内容	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等		
本校の資質・能力	知識及び技能	課題発見・解決力	コミュニケーション能力	粘り強く学習に取り組む態度	自己調整力

【本校の資質・能力及びその定義】					
学習指導要領に示す目標や内容	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等		
本校の資質・能力	知識及び技能	課題発見・解決力	コミュニケーション能力	粘り強く学習に取り組む態度	自己調整力
定義	探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識や技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解すること。	物事の中から課題を見だし、解決の方向性を決定し、解決方法を探して計画を立て、結果を予測しながら実行し、振り返って次の課題発見・解決につなげていく能力	いろいろな価値観や背景をもつ人々による集団において、相互関係を深め、共感しながら、人間関係やチームワークを形成し、正解のない課題や経験したことのない課題について、対話をして情報を共有し、自ら深く考え、相互に考えを伝え、深め合いつつ、合意形成・課題解決する能力	自分で設定した課題に進んで取り組み、他者と関わりながら粘り強く課題解決を図ろうとする態度。	学習目標に対する成果だけでなく、そこに向かって自分なりに考えたり工夫したり、また、他の子供と対話したり協働したりすることを通して、自分の考えを修正しようとする力。

1年目(令和3年度)の研究

2-(1)探究スタイルの共有



府中学園 探究スタイル

どんな時にも自分の意見をもつ。
どんな時にも疑問をもつ。
自分の意見や疑問を筋道立てて考える。
前向きな議論をする。

【聞き手】

- ★話し手の発言を最後まで聞く。
- ★自然しになるようなことを言わない。
- ★「～が面白いんだよね。」と相手に確認する。
- ★「なぜ?」「具体的に?」など分からないことを質問をする。
- ★どのような意見があっても、間違いと決めつけない。

【話し手】

- ★大きな声で話す。
- ★だから話さない。
- ★理由や事実、根拠を明らかにして話す。
- ★はっきり話す。

課題設定
↓
学習計画

★自分たちで課題を設定して学習計画を立てよう
- 口頭から「気になる」「解決したい」「不思議だな」と思うことは?
- 資料を比べて「なぜ?」「どうして?」と問うことは?
- 地域の方からの話を聞いて、気付いたことは?
- 学習計画を立てたり、振り返り欄で、KWLを使って整理しよう。

情報収集

★課題を解決するための情報を集めよう
- 実験、観察
- 図書室の本、映像
- 教科書、資料集
- インタネット
- アンケート
- 校外での聞き取り
- 友達との考え
- これまでの学習

整理
・
分析

★必要な思考ツールを考え、整理しよう
- 集めた情報の関係や関連を明らかにするために、イメージマップを使う。
- 集めた情報の共通点と相違点の方向を明らかにするためにベン図を使う。
- 主題や考えの理由・根拠を明らかにするために、クラフアールを使う。
- 集めた情報を多面的にみるために、フィッシュボーンを使う。

まとめ
・
表現

★相手に筋道立てて伝えよう
①主題→理由→まとめ
「私は○○を思っています。理由は△△だからです。しかし、～とも考えられます。やはり、～を思っています。なぜなら～だからです。以上のことから○○と断じます。」
②比較・分類・関連付け
～と比べて、～と関わり、～と比べると、～に付け加えて

振り返り
・
新たな課題

★「学びゲット」で振り返り、次の授業につなげよう
- どんな力が付いたか○をする。
- 授業で何を学んで、何ができて、何ができなかったのかを書く。
- 授業後に学習計画を見直して、次の授業の内容に変更があれば、その内容を添えて書かせる。

広げる
イメージマップ

見通す
KWL

比べる
ベン図

仲間分け
Yチャート

理由付ける
クラゲチャート

多角的にみる
フィッシュボーン

多角的にみる
バタフライチャート

意見決定する
PMI

順序立て
ステップチャート

👉 全校生徒に下敷きを配布⇒探究の過程や思考ツールの紹介👉

1年目(令和3年度)の研究

2-(2)単元構想



【生活科及び総合的な学習の時間の評価規準と単元との関わり】											
		府中市		広島県		日本		世界		自分自身	
学校教育目標を踏まえた系統性とSDGsとの関連											
学年		1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	
テーマ				町づくり	環境	食	防災	健康	キャリア	府中市と私	
探究課題				町づくりや地域活性化のために取り組んでいる人々や組織に関する課題	環境配慮・廃棄物対策への取組やそれを支援する仕組みや人々に関する課題	食をめぐる課題とそれに関わる地域の農業や生産者に関する課題	防災のための安全な町づくりとその取組に関する課題	・毎日の健康な生活とストレスのある社会に関する課題	・実社会で働く人々の姿と自己の将来に関する課題	生徒の興味・関心に基づく課題	
教科との関連				社会科 国語科 特別の教科道徳	社会科 図画工作科 算数科	社会科 国語科 家庭科 算数科					
資質・能力	観点										
知識及び技能	知識	自分自身と身近な人々、社会の及び自然の特徴やよさ、それらとの関わりに気付いている。	自分自身と身近な人々、社会の及び自然の特徴やよさ、それらとの関わりを理解している。	地域の特産の良さや課題、そこに携わる様々な人の存在を理解している。	身の回りのゴミ問題を知るとともに、ゴミを減らすためのさまざまな取組があることを理解している。	地域の農業のよさや携わる人々の願い、地域の自然を生かして生産される代表的な農作物を生かしたまちづくりが進められていることを理解している。	自然災害や防災について知るとともに、自助・共助・公助の考えがあることを理解している。	健康的な生活について理解しようとして理解することができる。	実社会で働いている人々が感じている課題や思いを理解することができる。	府中市の未来を考えるための、府中市の課題や特徴を理解している。	
	技能	相手に応じた言葉遣いで家族や友達へのインタビュー活動を行ったり、観察したことを絵や文で表現したりしている。	相手や目的に応じて、家族や地域の人へのインタビュー活動を行ったり、分かったことを言葉、絵、動作、劇化などの多様な方法によって表現したりしている。	情報を比べて共通点や相違点を見つけることができる。	相手や目的に応じた方法で聞き取りやアンケート調査を実施している。	インタビューによる情報収集やポスター発表などの表現活動を、相手や目的に応じて実施している。	インタビューや質問紙などによる調査を正しく行うことができる。	自分に合うライフスタイルを提案することができる。	自分が将来働くために必要な挨拶や言葉遣いなどの技能を身に付け、実践できる。	自分たちが調べた研究テーマについての情報を集めることができる。	
	探究的な学習のよさの理解	学習したことを基に、さらに学習していきたいことを自分たちで決めて取り組むを進めることができることに喜びを感じている。	学習したことを基に、さらに学習していきたいことを自分たちで決めて取り組むを進めることができることに喜びを感じている。	地域の特産やそれに関わる人についての理解が深まったのは、自ら課題を発見し探究した成果だと気付いている。	ゴミ問題に対する自らの認識の高まりや行動は、探究的な学習の成果であることに気付いている。	食べ残しをしないなど、自分の意識や行動の姿は、食の問題や生産者の願い等について探究的に学んだことによる成果であると気付いている。	自分で自分の命を守る意識と防災の重要性への認識の高まりは、自然災害や防災と自分達の生活との関係を探的に学習してきたことの成果であると気付いている。	自らの生涯を通して健康づくりの意識の姿は、100年人生を健康に過ごすことについて探究的に学んだ成果だと気付く。	働く意義について深く考え、自己の将来について選択することができる。	府中市の街に関することと自分たちの生活との関わりについての理解は、探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	

2-(3)思考ツールを取り入れた探究学習

- ・ロイロノートの活用
- ・思考ツールの活用研修
- ・思考場面を取り入れた
探究的な授業案の作成



思考ツールを取り入れた探究学習の実践

計画

前転の動画を撮影する



afterの動画撮影

わかったこと	課題	次回に向けて

実行



わかったこと	課題	次回に向けて
ポイントを確認していないときの立ち足も直がって入行くと、ポイントを確認して姿勢を上げることを意識して、上げたあとに足と合わせたらうまくいった。	今回は、倒きがちょっと早い瞬間があるように感じた。自分の立ちを直したいなと思う時にできるような練習もできるようにしたい。	次回は、前転の足をしたい。

1年目(令和3年度)の研究

授業者全員が思考
場面を取り入れた
探究的な授業案を
作成

岡田麻由子 1年 国語科 「うみの かくれんぼ」 9月15日(水) 16:38 1/3	佐伯知恵子 2年 道徳 「くりの み」 9月15日(水) 16:50 1/6	神部あかり 道徳「たからさがし」 もし、あなたがこの場面にいたら、どちらの味方をしますが、どうしてそちらの味方をするのが理由を説明しましょう。 9月15日(水) 16:52 1/3	石井由紀子 ✓ 9月15日(水) 16:55	秋間郁衣 3年 道徳 「たからさがし」 9月15日(水) 17:08 1/5	瀬尾抽紀 5th grader 身近な人紹介 He,Sheを使って紹介しよう 9月15日(水) 17:09 1/5	稲田小夏 うすい塩酸にとけた金属は、どうなったのだろう？ 9月15日(水) 17:11 1/6
山根聖子 9月15日(水) 17:17 1/5	岡田真史 4年 道徳 「がむしゃらに」 9月15日(水) 17:21 1/6	多木杏奈 3年 道徳 「たからさがし」 9月15日(水) 21:05 1/6	廣田直美 職業家庭(家庭科分野) 食事のバランスが取れているか考えてみよう 9月15日(水) 23:39 1/5	中家真 2年 道徳 「わりこみ」 9月16日(木) 7:33 1/4	福地沙紀 学級活動 「2学期のお楽しみ会について」 9月16日(木) 7:44 1/4	小川素樹 8年生 初級 「日本の諸島」中部地方 ①クワゲの頭のトピックと結び付く語句を教科書から探し、クワゲの足に記入しよう。 ②3枚のクワゲチャートのうち1枚を選び、トピックをもとに課題を設定しよう。 ③設定した課題をもとにレポートを作成しよう。 9月16日(木) 7:53 1/9
岡西孝太 保健体育科 マット運動 9月16日(木) 8:02 1/4	佐野駿平 保健体育 マット運動 9月16日(木) 8:05 1/5	杭谷拓 7年 理科 9月16日(木) 9:12 1/4	宮田浩和 9年 社会 「公共の福祉」と国民の義務 9月16日(木) 9:26 1/6	上田千紜 6年 国語 いちばん大事なものは 9月16日(木) 9:29 1/6	堂面貴洋 9月16日(木) 14:21 1/3	瀬塚朱音 5学年 「雲と天気の変化」 9月16日(木) 15:27 1/4
中沢麻美 2年 道徳 お月さまと コロ 9月16日(木) 15:41 1/4	花村直美 おはなしが つづくように えを ならべかえましょう 9月16日(木) 16:13 1/2	前田友香 衣服の働きを分類しよう 9月16日(木) 16:17 1/4	高村高浩 あなたなら源さんと同じことをしますか。 9月16日(木) 16:18 1/5	玉与木優成 「2元1次方程式と1次関数」 9月16日(木) 16:22 1/5	四茂野宏道 声に出して読もう 9月16日(木) 16:26 1/9	岡田亜希子 道徳5年 「折れたタワー」 9月16日(木) 16:45 1/3
古川芳香 あきのしゃしんを なかまわけしよう!! 9月16日(木) 16:53 1/3	平田美桜 つぎのあきのしゃしんを なかまわけしよう! 9月16日(木) 16:56 1/3	大原淳 平清盛と源頼朝によって これまでの時代と何が変わったのだろうか。 9月16日(木) 16:57 1/5	前原直美 総合4年 「ごみをどうする？」 9月16日(木) 16:59 1/4	石川裕敏 道徳 「天下の名城をよみがえらせる一姫路城」 9月16日(木) 17:02 1/5	坂根桃子 2年 道徳 「くりの み」 9月16日(木) 17:02 1/6	中居颯大 3年 道徳 「みんなのわき水」 9月16日(木) 17:13 1/4
兼崎美玖 5年 道徳 「新次のしょうぎ」 正直はだれのため 9月16日(木) 17:17 1/4	天満成志郎 8年 技術 「国際運動を伝える仕組み」 9月16日(木) 17:24 1/4	和田衣里 4年 道徳 「フィンガーボール」 9月16日(木) 17:30 1/4	有馬廉 総合「府中の食を広めよう」 9月16日(木) 18:28 1/4	平井奈穂子 7年生 英語 Unit4 学習計画を立てよう 9月16日(木) 18:49 1/3	平賀歩 7年 道徳 「公平と不公平」 9月16日(木) 20:09 1/9	杉本朋子 4年 算数 「四角形」 9月16日(木) 21:03 1/3

2年目(令和4年度)の研究

令和3年度の反省から…

本校の課題を整理

- ①活動主義である
- ②児童生徒主体の課題設定(自分事)になっていない



真の探究的な学習課題になっていない！！

2年目(令和4年度)の研究

研究の柱

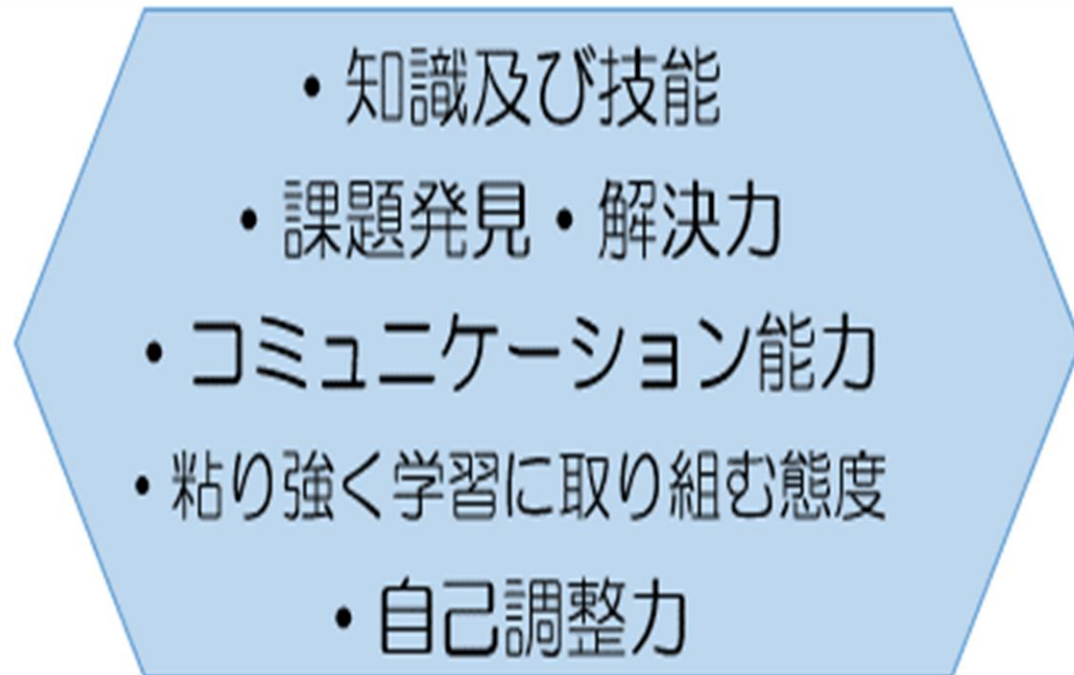
①

総合的な学習の時間「全体計画」の見直し

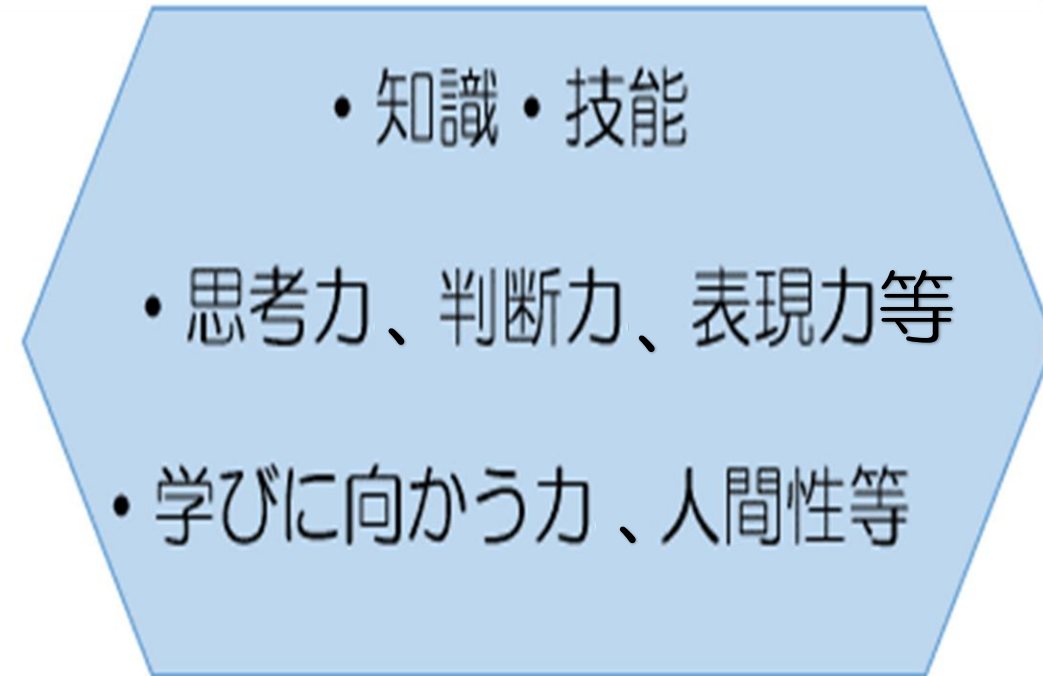
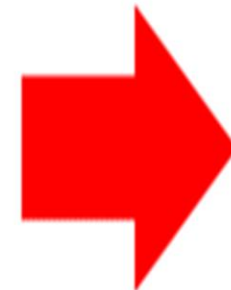
～ 資質・能力、観点等の再整理、探究活動を充実させるための指導と評価の一体化 ～

総合的な学習の「全体計画」の見直し

全体計画で見直すポイント【資質・能力の再整理】



昨年度、職員全体研修で定めた資質・能力



国が定める育成すべき資質・能力

2年目(令和4年度)の研究

総合的な学習の「全体計画」の見直し

昨年度、職員全体研修で定めた生活・総合的な学習の時間で育成する資質・能力

国が示す資質・能力	昨年度定めた資質・能力	観点
知識及び技能	知識及び技能	知識
		技能
		探究的な学習のよさ
思考力、判断力、表現力等	課題発見・解決力	課題設定
		情報収集
		整理・分析
		まとめ・表現
学びに向かう力、人間性等	<u>コミュニケーション能力</u>	言語能力
	粘り強く学習に取り組む態度	協働性
		自己調整力
		メタ認知

資質・能力
を構成する
要素として
整理！！

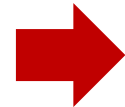
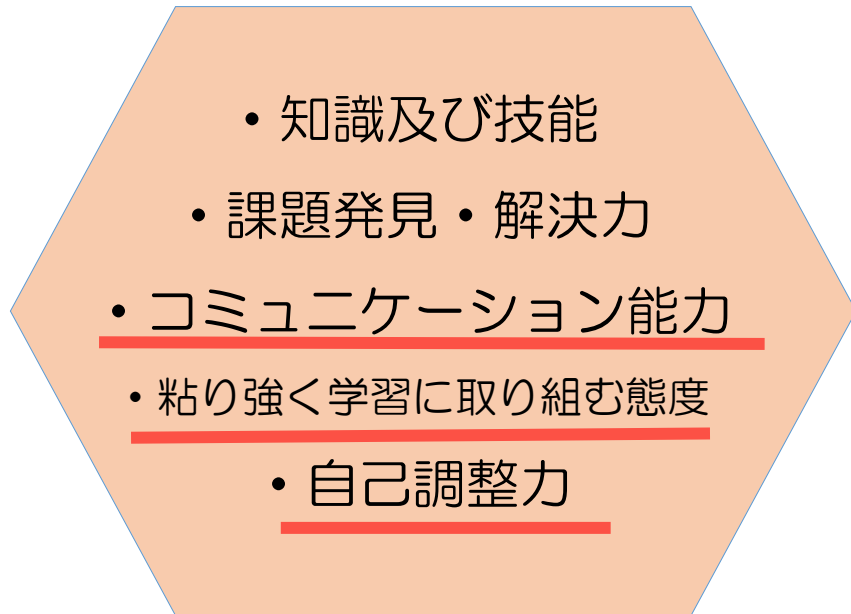
総合的な学習の「全体計画」の見直し

見直し後の資質・能力とその構成要素

国が示す資質・能力	資質・能力を構成する要素
知識及び技能	知識
	技能
	探究的な学習のよさ
思考力、判断力、表現力等	課題設定
	情報収集
	整理・分析
	まとめ・表現
学びに向かう力、人間性等	<u>自己理解・他者理解</u>
	<u>主体性・協働性</u>
	<u>社会参画・将来展望</u>

足りなかったもので、
追加した要素

総合的な学習の「全体計画」の見直し



生活科・総合的な学習の時間に限らず、学校教育全体で育成を目指したい力として扱う。

昨年度、職員全体研修で定めた資質・能力

総合的な学習の「全体計画」の見直し

全体計画の見直し① (8月～)

各グループでの見直し

- ・ 課題発見
- ・ 情報収集
- ・ 整理・分析
- ・ まとめ・表現
- ・ 自己理解・他者理解
- ・ 主体性・協働性
- ・ 社会参画・将来展望

単元の目標 単元観の作成 (10月～)

各学年で、テーマの検討や材の研究を行う。来年度の単元計画作成に向けて、単元の目標と単元観を作成する。

全体計画の見直し② (12月～)

各学年で作成した、単元の目標と単元観をもとに、探究メンバーで

- ・ 知識
- ・ 技能

の学習評価を見直し、全体計画を作成する。

全体計画の完成 (12月～)

全体計画の完成に向けて、探究グループで最終調整。



全体計画をもとに、来年度の**単元計画作成**。

【長野指導主事に行っていた研修内容】

・ **単元計画作成**のポイント

～探究できる材の探し方と、単元観及び単元の目標の作成方法について～

総合的な学習の「全体計画」の見直し



① 全体計画の9年生を見る

② 系統性を考える

→9年生は単独?他学年とくっつく?

→縦の区切りは学年ごと、ステージごと…など

※担当の箇所を、資料を参考にグループで検討

- ・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料
 - ・初等教育資料 (令和2年3月号)
- 総合的な学習の時間における学習評価の改善と指導の充実

学年でグループに分かれて見直し作業 (職員全体研修)

2年目(令和4年度)の研究

総合的な学習の「全体計画」の見直し

<目標を実現するにふさわしい探究課題，探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力>

学 年			第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	第7学年	第8学年	第9学年	
カテゴリ (出会わたいヒト・モノ・コト)			町づくり	環境	食	歴史	健康	キャリア	(個人探究)	
探究課題			生菓子用巾着の特産物にしよう と努力する人々の思いや願 い	給食から出るごみや地域のケ リーンセンターに集められる ごみについての課題	諸田ごぼろに関わる人々の思 いや願い	備後国府の歴史や文化の伝承 に向けた取組についての課題	健康を守るための考え方や健 康法についての課題	働く人の思いや願い	自己を振り返り自分自身の興 味関心のあることに関する課 題	
資質・能力	評価の観点	観点の構成要素								
思考力、 判断力、 表現力等	知識・ 技能	知識								自然・文化・社会・経済の 中では、色々な物事の考え 方が存在する事や、色々な 物事が絡み合っている事を 認識することができる 【多様性】
		技能								課題解決に合わせて適切な 分析方法を用い、新しい価 値を見出そうと努力してい る。 【整理・分析場面】
		探究的な学 習のよさの 理解								〇〇(学習対象)についての知識・技能が身に付くこと で、認識が定まったり改まったりしたことは、探究的 に学習してきたことの成果であることに気付いてい る。

2年目(令和4年度)の研究

総合的な学習の「全体計画」の見直し

9年生のゴールにむかって、発達段階に応じた評価の工夫

発達段階に応じた評価の工夫「情報収集」

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	第7学年	第8学年	第9学年
		調べたい情報についての <u>複数の収集方法を知ることができている。</u>	調べたい情報について複数の収集方法を知り、 <u>その中の方法を使って情報を収集している。</u>		調べたい情報について複数の収集方法を知り、 <u>その中から適切な方法を使って情報を収集している。</u>		調べたい情報について複数の収集方法を知り、 <u>その中から適切かつ効率的な方法を使って情報を収集している。</u>	

発達段階に応じた評価の工夫「社会参画・将来展望」

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	第7学年	第8学年	第9学年
		<u>【社会参画・将来展望】</u> 学習を振り返り、自分のよさに気付き、 <u>学びを実生活につなげようとしている。</u>	<u>【社会参画・将来展望】</u> 学習を振り返り、自分のよさに気付き、 <u>学びを実生活につなげ、実社会に参加しようとしている。</u>		<u>【社会参画・将来展望】</u> 学習を振り返り、自分のよさに気付き、 <u>実生活との関わりの中で自分にできることを見つけ、実社会に参加したり参画しようとしている。</u>		<u>【社会参画・将来展望】</u> 学習を振り返り、自分のよさに気付き、 <u>学びを実生活の中で夢や希望につなげ、実社会に参画しようとしている。</u>	

2年目(令和4年度)の研究

総合的な学習の「全体計画」の見直し

「全体計画」の中のカテゴリ・探究課題

学 年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	第7学年	第8学年	第9学年
カテゴリ (出会わせたい人・もの・コト)			府中市にある人・もの・コト	環境	食	歴史	SDGs	キャリア	個人探究
探究課題			府中市にある人・もの・コトと自分との関わりについての課題	給食から出るごみや地域のクリーンセンターに集められるごみについての課題	諸田のごんぼう存続に関わる地域に根差した「食」についての課題	備後国府の歴史や文化の伝承に向けた取組についての課題	世界の様々な課題と持続可能な社会を創るための考え方についての課題	働く人の思いや願いについての課題	日常生活の中で生まれた疑問や自分が興味関心のあることに関する課題
履修・能力									
評価の観点									
調査の項目等									

カテゴリ(出会わせたい人・もの・コト)と
探究課題を整理

2年目(令和4年度)の研究

総合的な学習の時間で学ばせたい、探究の力

3学年

4学年

探究の過程を知る①
(課題設定・情報収集・整理分析・まとめ表現)

5学年

6学年

探究のステップを知る②
(課題の解決が図れたかどうかの“検証”の大切さ)

7学年

複数人での探究①
→ (SDGs 17の達成目標でチームを組む)

8学年

複数人での探究②
→ (体験事業所ごとにチームを組む)

9学年

個人探究
(卒業論文)

課題の発見・設定

↓
仮説

↓
計画

↓
実践

(検証)

2年目(令和4年度)の研究

研究の柱

②

**P B L (プロジェクト型学習) の考え方を参考にした、
総合的な学習の時間の単元開発・改善・実践**

～ 教師は主導するのではなくファシリテーターに！ 児童生徒がつくり出す授業づくり～

2年目(令和4年度)の研究

PBL(プロジェクト型学習)の考え方を参考にした、総合的な学習の単元開発・改善・実践

本校の課題を解決するために取り入れた2つのコト

① 「理想」と「現実」のズレから課題を見つけ出す

② 設定した課題の解決が図れたかの「検証」の視点を取り入れる



<紹介する単元>

第6学年「備後国府」遺跡発掘プロジェクト～府中の宝を未来へつなごう！広がる輪！～

第8学年「キャリア体験学習」～企業・しごとを知り、創造力を働かせる～

2年目(令和4年度)の研究

PBL(プロジェクト型学習)の考え方を参考にした、総合的な学習の単元開発・改善・実践

第8学年「キャリア体験学習」～企業・しごとを知り、創造力を働かせる～

令和4年度～

- 従来の「職場体験」から、課題解決型の探究的な「キャリア体験学習」へ
- 3日間で事業所の課題を発見し、その解決策を「提案する」までがゴール



**効果的に課題を発見するには、
どんな方法があるのか？**

2年目(令和4年度)の研究

PBL(プロジェクト型学習)の考え方を参考にした、総合的な学習の単元開発・改善・実践

第8学年「キャリア体験学習」～企業・しごとを知り、創造力を働かせる～

鳥取県 青翔開智学園の視察

「理想」と「現実」のズレから課題を発見するという手法を学ぶ。

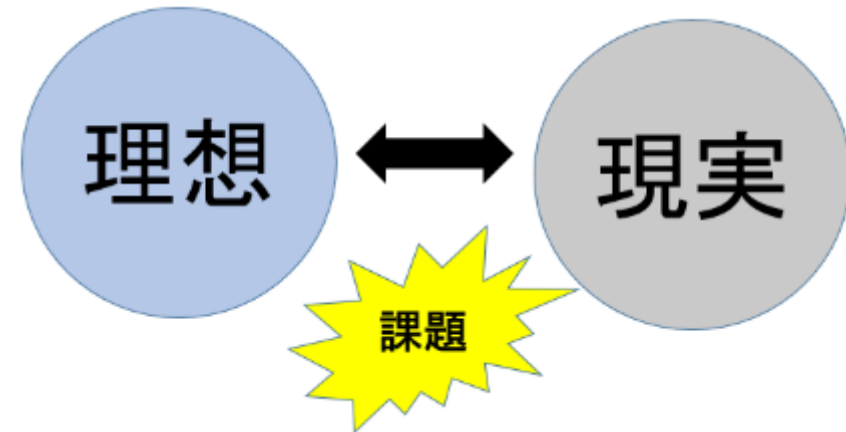


演習形式で課題の発見のやり方を学ぶ

第8学年の「理想」と「現実」のズレから学年の課題を発見してみる。



キャリア体験学習へ応用！



自分たちが発見した「学年の課題」発表のようす

2年目(令和4年度)の研究

PBL(プロジェクト型学習)の考え方を参考にした、総合的な学習の単元開発・改善・実践

第8学年「キャリア体験学習」～企業・しごとを知り、創造力を働かせる～

事前に、職場体験で訪れる

事業所の**理想**を調べる



3日間の職場体験で、
事業所の**現実**を調べる

事業所の課題発見

+

解決策を提案

2年目(令和4年度)の研究

PBL(プロジェクト型学習)の考え方を参考にした、総合的な学習の単元開発・改善・実践

第8学年「キャリア体験学習」～企業・しごとを知り、創造力を働かせる～

事業所の代表を招き、事業所への課題解決の提案



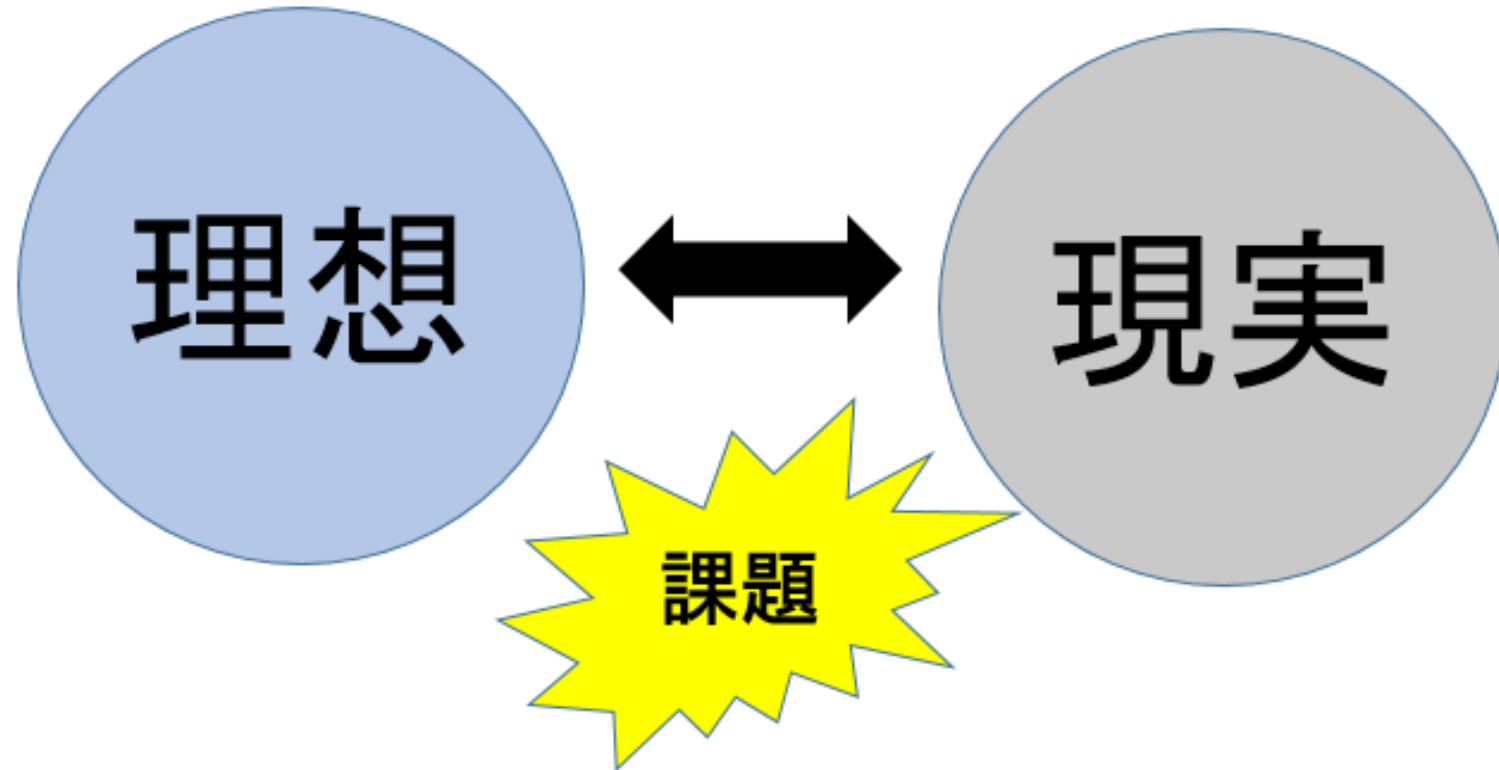
この解決案にかかるコストも考えました



私たちがこの事業所に提案したい課題解決の案は、・・・

2年目(令和4年度)の研究

PBL(プロジェクト型学習)の考え方を参考にした、総合的な学習の単元開発・改善・実践



この手法なら、効果的に「自分事」として
課題をとらえることができる！

2年目(令和4年度)の研究

PBL(プロジェクト型学習)の考え方を参考にした、総合的な学習の単元開発・改善・実践

第6学年「備後国府」遺跡発掘プロジェクト～府中の宝を未来へつなごう！広がる輪！～

府中市教育政策課文化財室からの呼びかけ

「遺跡の発掘調査もあるので連携したい」
「史跡公園をつくるのに協力してほしい」



備後国府跡の発掘体験



備後国府跡に関する調べ学習



課題を設定しようとするも…



活動主義で進んでしまっている…

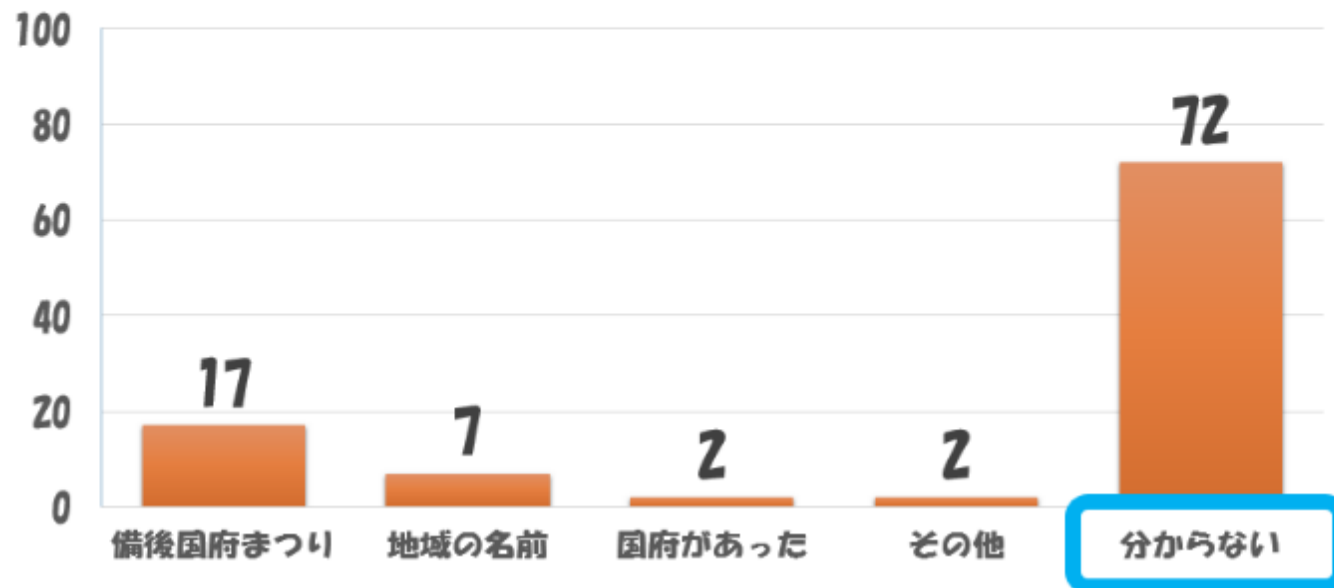
課題が「自分事」になっていない…

2年目(令和4年度)の研究

PBL(プロジェクト型学習)の考え方を参考にした、総合的な学習の単元開発・改善・実践

第6学年「備後国府」遺跡発掘プロジェクト～府中の宝を未来へつなごう！広がる輪！～

「備後国府」について知っていることを教えてください。



7～9年生対象に行った「府中市に関するアンケート」より

えー！なんでー！？
10位にも入ってない・・・！

自分たちが、備後国府遺跡を
伝えよう・広めようよ！



2年目(令和4年度)の研究

PBL(プロジェクト型学習)の考え方を参考にした、総合的な学習の単元開発・改善・実践

第6学年「備後国府」遺跡発掘プロジェクト～府中の宝を未来へつなごう！広がる輪！～

第6学年(100名)を対象とした意識調査 ※回答者89名

備後国府の遺跡発掘をしたあと、府中市にある「未来に残したい、伝えたい、もの・こと」は？の問いのベスト10の中に、備後国府が全く入っていないアンケート結果を見たと思います。その結果を見たとき、自分が最も感じたことを、次の選択肢から2つまで選んでください。

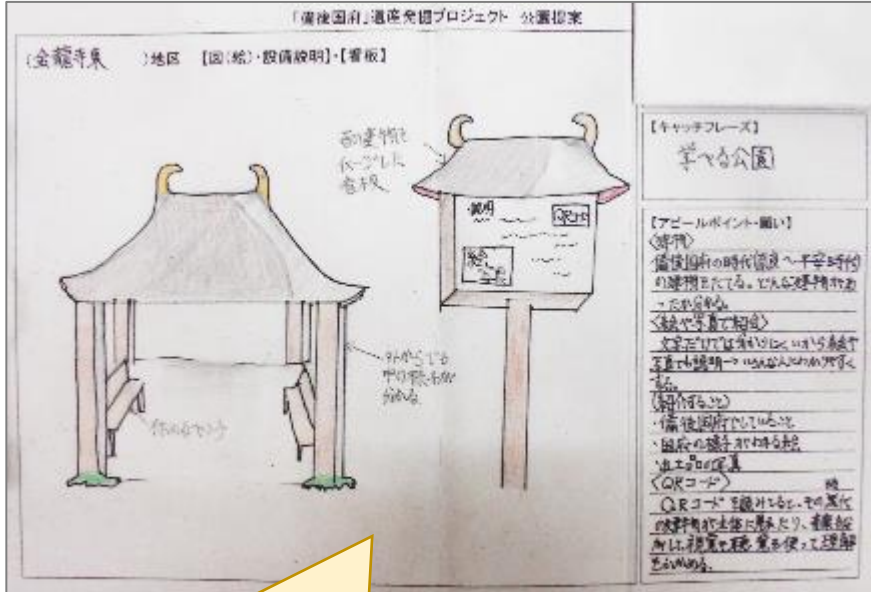
自分たちが解決していかないといけないと思った。	<u>20人</u>
なぜだろう、理由を探りたいと思った。	<u>10人</u>
考えていた予想とは違っていたので驚いた。	18人
自分も知らなかったなので、予想通りの結果だった。	23人
自分たちが課題設定をするためのきっかけとなった。	<u>16人</u>
無回答	2人

2年目(令和4年度)の研究

PBL(プロジェクト型学習)の考え方を参考にした、総合的な学習の単元開発・改善・実践

第6学年「備後国府」遺跡発掘プロジェクト～府中の宝を未来へつなごう！広がる輪！～

8つの代表チーム23名が府中市役所を訪問し、会議で公園計画の提案



計画書には、イラストやアピールポイントをつくって、どんな公園にしたかについてを分かりやすく記載

- 提案時間は1グループ発表2分、質疑応答3分
- 会議には府中市長や教育長、大学教授など様々な方が出席
- 公園のコンセプト“子供から大人まで楽しめる公園”を目指し、スライドや模造紙で提案発表

2年目(令和4年度)の研究

PBL(プロジェクト型学習)の考え方を参考にした、総合的な学習の単元開発・改善・実践

第6学年「備後国府」遺跡発掘プロジェクト～府中の宝を未来へつなごう！広がる輪！～

6年生全員が、チームでまとめた事を7・8年生に提案



Q. 備後国府に関する歴史や遺跡を「未来に残したい、伝えたい」と思いましたか。



Q. 「備後国府」について知識は増えましたか。



7・8年生対象のアンケート調査(3/17)

2年目(令和4年度)の研究

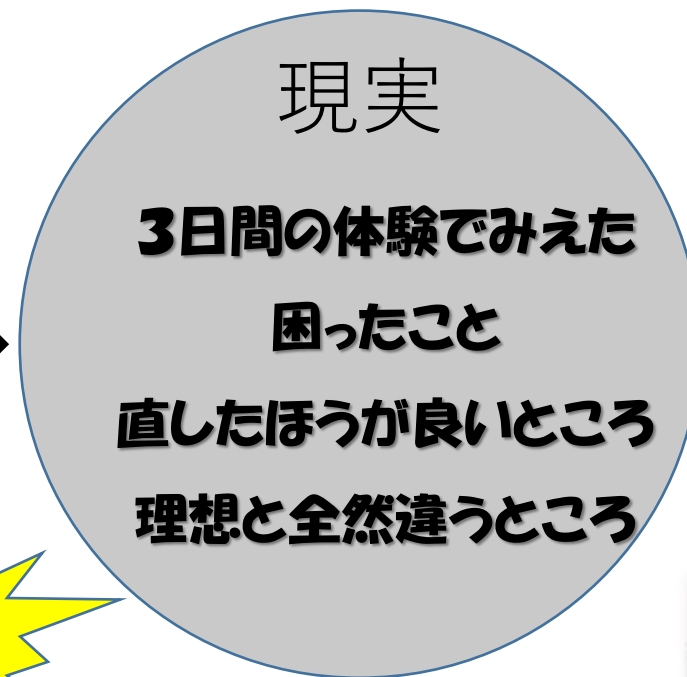
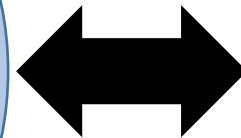
PBL(プロジェクト型学習)の考え方を参考にした、総合的な学習の単元開発・改善・実践

開発単元 ポイント① 「理想」と「現実」のズレから課題発見・設定

第8学年 府中市「キャリア体験学習
～企業・しごとを知り、創造力を働かせる～

こんな会社
にしたい!

働きやすい
職場づくり



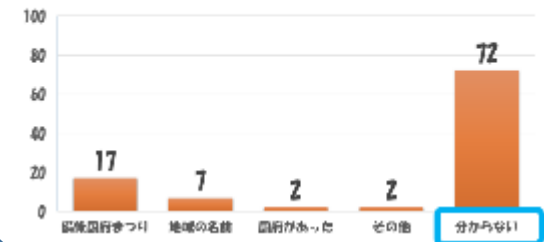
2年目(令和4年度)の研究

PBL(プロジェクト型学習)の考え方を参考にした、総合的な学習の単元開発・改善・実践

開発単元 ポイント① 「理想」と「現実」のズレから課題発見・設定

第6学年「備後国府」遺跡発掘プロジェクト
～府中の宝を未来へつなごう！広がる輪！～

「備後国府」について知っていることを教えてください。



理想

備後国府の事をもっと
「知ってもらいたい」
「感じてもらいたい」
「楽しんでもらいたい」

現実

多くの人が備後国府を、
知らない…
分からない…

課題



2年目(令和4年度)の研究

PBL(プロジェクト型学習)の考え方を参考に、総合的な学習の単元開発・改善・実践

開発単元 ポイント② 「検証」の視点を取り入れた実践的な課題解決

自分たちの設定した課題は、
達成できたのか？達成できなかったのか？



Q. 備後国府に関する歴史や遺跡を「未来に残したい、伝えたい」と思いましたか。



Q. 「備後国府」について知識は増えましたか。



7・8年生対象のアンケート調査(3/17)



令和5年度の取組目標



成果の普及

普及①

問題に自分事として向き合うための「課題設定」の工夫

～「理想」と「現実」のズレをつくる「仕掛け」づくり、材の研究～

普及②

ファシリテートをいかに実践するか

～すべての教員が重要性を認識できる校内の研究体制の工夫～

普及③

総合的な学習の時間「全体計画」見直し

～府中市教育研究会 総合的な学習の時間部会を通じて～

3年目(令和5年度)の研究

普及① 「理想」と「現実」のズレから課題を見つけだす



教研通信

～総合的な学習の時間 スタートにあたって～

令和5年4月11日発行
No. 2
府中学園 教育研究部


課題との出会わせ方を工夫しましょう！

ポイントは、理想と現実のズレ(ギャップ)を示すことで、疑問や驚きなどから課題を見出すなど、児童のこれまでの考えとのずれや隔りを感じさせることで自分ごととして課題を設定し、児童が考えをまっかきとなる学習設定を目指します。

昨年夏の第8学年の取組を紹介

私たちが府中市のためにできることは？(5ト)

- 府中市について知る
- 専門家を招いて、実物と触れ合う
- 「備後国府」や歴史・文化の継承についての課題と出会う



理想

ズレ(ギャップ)

現実

多くの人が知らない…
ランキング外！

理想
第8学年の学習は、教師の見立てでは第8学年までの学習者として、基礎設定を主体的に行えてきた。しかし自分では何の為に学習を行っているのかという意識を持って学習できている児童も少なかった。併読は、児童の振り返りに対してその学習の振り返りができず見られることで、自分たちの学習の目的について明確に答えられる児童が少なかったことである。

現実
課題との出会わせ方を工夫するための、課題の設定過程では、問診票等に反映出た内容を各担当児童に設定したり、各員課題に関する専門の方と連携したりすることで、疑問や驚きなどから課題を見出すなど、児童のこれまでの考えとのずれや隔り、対応への驚きや可哀さを感じさせた。

取組

備後国府の遺跡を巡りながら、府中市にある「未来に伝えたい、伝えたいもの」をテーマに探究の視点から府中市の歴史・文化の継承について探究し、その探究結果を発表する機会を設ける。その結果、児童が自分たちの探究結果を発表する機会を設ける。その結果、児童が自分たちの探究結果を発表する機会を設ける。

自分たちの探究結果を発表する機会を設ける。	21.2%
自分たちの探究結果を発表する機会を設ける。	15.3%
自分たちの探究結果を発表する機会を設ける。	22.7%
自分たちの探究結果を発表する機会を設ける。	16.4%

課題との出会わせ方を工夫することで、半数以上の52.3%の児童に動機付けや学習意欲をもたせることができたという結果が出ています。
理想とのズレ(ギャップ)を感じ、自分事として課題を設定することで、児童が考えをまっかき仕組んでいきましょう！

課題との出会わせ方の工夫について、4月の年度初めに、教育研究部通信を通じて教員へ周知！

疑問や驚きの中から課題を見出し、自分事として課題を解決していくことの必要性を発信！

3年目(令和5年度)の研究

普及① 「理想」と「現実」のズレから課題を見つけだす

府中市教育研究会の部会への普及



10月4日には、第3回研究推進協議会と市教育研究会総合的な学習の時間部会を合同で開催。キャリア体験学習で、「事業所の理想」と「体験してみえた現実」のズレから事業所の課題を発見するという8年生の授業を参観していただくことで、課題との出会わせ方の工夫を本校がどのように行っているかを発信。

3年目(令和5年度)の研究

普及② ファシリテートをいかに実践するか

「わくわくする探究」をめざして!

府中市教育研究部会への普及



【毎時間の課題設定を意識する】

- ・何をする？
- ・何のために？
- ・方法は？
- ・時間は何分必要？



【振り返りを充実させる】

- ①学んだこと・分かったこと
・できたこと
- ②難しかったこと
- ③友達からの学び
- ④次の時間にすること

【話し合うプロセスを明示する】

- ①何のために (目的)
- ②何を (情報)
- ③どのように話し合い
- ④どんなゴール(成果)を目指すのか

実践した教諭から

- ・想定外の展開があってもいい!
- ・試行錯誤しながら進むことが総合の面白さ! そう思えたから子供たちに学習を任せることができた。
- ・学習の方向がズレたと思っても、子供たちはこちらが想像していた以上に自分たちで軌道修正できる力をもっている。

ファシリテートの重要性をテーマとした研究発表



3年目(令和5年度)の研究

普及③ 総合的な学習の時間「全体計画」見直し

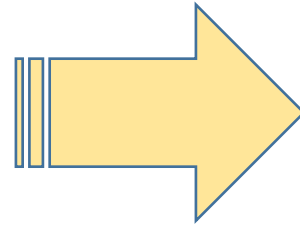
4月 第1回市教育研究会

- 研究テーマの設定、年間計画の作成
- ※府中学園の取組を各校にプレゼン
(各校が行う全体計画の見直しの参考に)

本校の全体計画が、市内各校の「全体計画」見直し作業のモデルに！

8月 第2回市教育研究会

- 全体計画の見直し作業



府中学園の教職員が、各校の全体計画の見直し作業に入りチェックを行う

10月4日(水) 府中学園で研究授業開催

※第3回研究推進協議会

- 協議会後の市教育研究会で、全体計画の確認

府中市内4つの学園で統一した全体計画に！
小学校・中学校の9年間が、系統性ある評価に



3年目(令和5年度)の研究

普及はその他にも…

他の市町への研究成果の普及

- マナビノラボでの実践発表
- 専門講座での実践発表
- リーフレット作成



教員の7割が児童生徒主体の課題設定ができると回答

(令和6年2月教員アンケート)



4割以上の教員が、先導するのではなくファシリテートを行っている！

(令和6年2月教員アンケート)

すべての教員がファシリテートの重要性を認識できている！

(令和6年2月教員アンケート)



探究の材料 とかかわる！

= 地域の人・もの・コト



9年間の探究カテゴリ(出会わせたい人・もの・コト)を整理したことで、地域のいろいろな人との出会いや地域の魅力発見につながっている！